



2005年度 教育行財政学

2005.12.13

学校の管理と経営 改革と理論(3)

担当: 勝野正章

講義の内容

- 4. 開かれた学校(前回のやり残し分 修正あり)
 - 4-1. 「開かれた学校」の諸相
 - 4-2. 保護者・地域住民の学校教育活動参加の事例
 - 4-3. 学校評議員制度
 - 4-4. 学校評議員制度の活性化事例
 - 4-5. 地域運営学校(コミュニティスクール)
 - 4-6. 学校のガバナンスモデル
- 5. 地域・保護者による学校参加
 - 5-1. 地域・保護者の多様性
 - 5-2. 保護者の役割
 - 5-3. 学校と保護者・地域の関係
 - 5-4. 学校参加に対する批判的論点

4-1. 開かれた学校の諸相

- 学校の施設・設備の住民への開放
 - 公開講座など教職員のもつ知識・技能の住民への開放
 - 人材バンクなどによる保護者・住民の学校教育活動への登用
 - 学校情報の公開(知る権利の保障)
 - 個人教育情報の本人開示(プライバシー権の保障)
 - 学校・教師のアカウントビリティ(説明責任)の実現
 - 学校評議員制度(校長の推薦する住民による学校運営への参画)
 - 子ども、保護者、住民の学校参加の実現
- (浦野東洋一『開かれた学校づくり』(同時代社、2003年)より)

4-2. 学校教育活動への参加事例

三鷹第四小学校の「夢育支援ネットワーク」

CT(コミュニティーティーチャー): 知識・経験・特技を活かして子ども達に授業をしよう!

SA(スタディアドバイザー): 学校の授業に入って、先生のお手伝いをしよう!

きらめきクラブ: 校庭・体育館・空き教室を使って、子ども達に我々の秘伝を伝えよう!

<http://muiku.net/index.html>より

4-3. 学校評議員制度

- いつから 2000年度から
- 誰が 教育に関する理解及び識見を有する者(その学校の職員を除く、校長が推薦し教育委員会が委嘱)
- 何をする 校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べることができる

4-4. 学校評議員制度の活性化事例

- 志木市 地域立学校経営協議会

議題 1. 予算(学校魅力化推進事業) 2. 人事(市費負担教職員) 3. 教育課程(総合的な学習の時間) 4. 学校評価

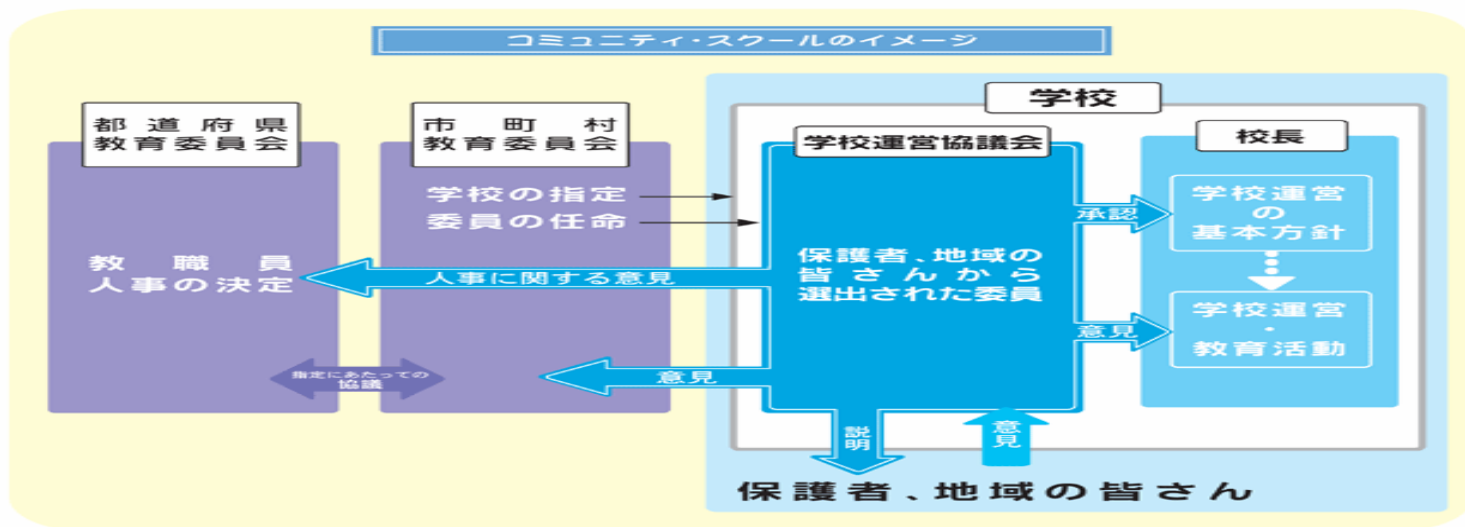
- 長野県辰野高校、鶴ヶ島市(小)中学校など 三者協議会、学校協議会 子ども(児童・生徒)参加、保護者参加、教職員参加

4-5. 地域運営学校 (コミュニティ・スクール)

学校運営協議会は、こんな役割を果たします！

学校運営協議会は、主に次のようなことを行います。

- 校長の作成する学校運営の基本方針の承認
- 教職員の任用に関して、教育委員会に意見(教育委員会は、その意見を尊重して教職員を任用)



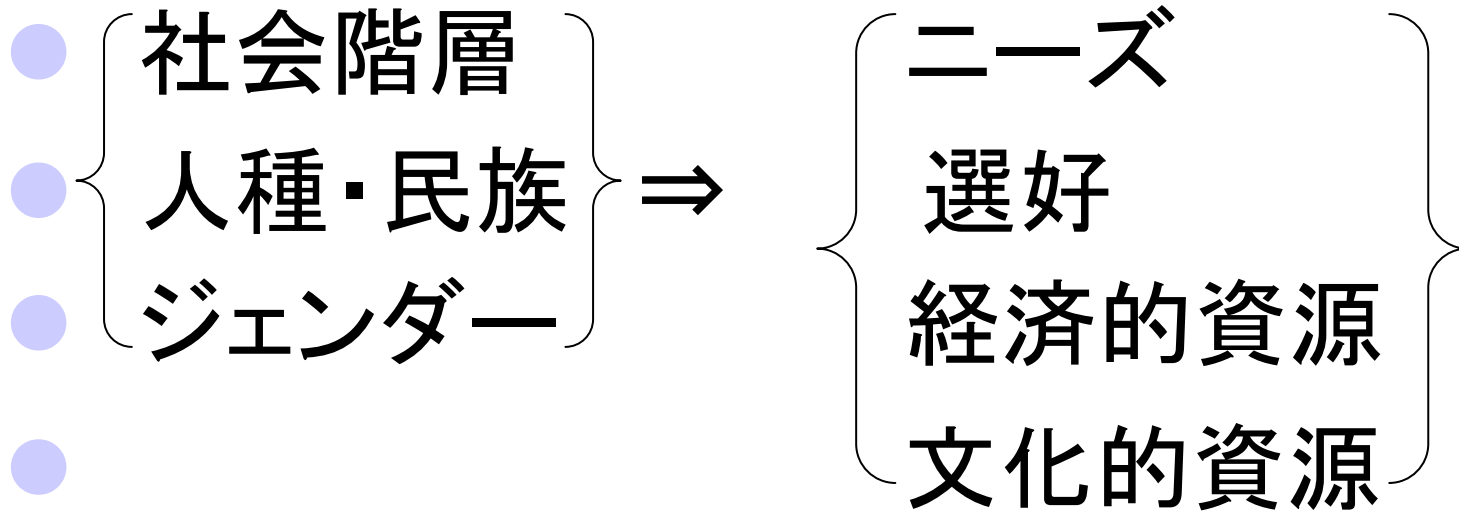
- 学校運営協議会を通じて、保護者や地域の皆さんと、校長や教職員とが一体となって、責任を共有しながら、地域に開かれ、信頼される学校づくりを進めることがこの制度のねらいです。
- 地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりが進むことで、地域全体の活性化にもつながります。

4-6. 学校のガバナンスモデル

ガバナンス 学校と他の学校及びステークホルダー(利害関係者)との関係をどう調整するか

- 競争市場モデル
- 機関エンパワメントモデル
- 地域エンパワメントモデル
- クオリティ・コントロール(品質管理)モデル

5-1. 地域・保護者の多様性



ステレオタイプ 教育熱心な白人中産階級、学校参加に熱心な女性・・・？

5-2. 保護者の役割

- 消費者
- 市民
- クライアント（顧客）
- 第一義的な教育者
- パートナー { 権力、責任、オーナーシップの分有
互恵性
目標の共有
共同活動へのコミットメント

5-3. 学校と地域・保護者の関係

- 個人的 vs 集合的
- 特殊的 vs 一般的
- 学校志向 vs 地域・保護者志向
- 活動の内容
 - コミュニケーション
 - 教育
 - 影響力の行使

Discussion この枠組みを用いて「開かれた学校づくり」の諸相を分析しなさい。

5-4. 学校参加に対する批判的論点

- 代表性
- 強者・多数者の専制（権力の不均等性）
- 「愚かな決定」
- 参加コスト